



マッターホルン (スイス) 倉田 富士雄

暑中お見舞い
申し上げます。



No.362

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

「九条の会」アピールを全面的に支持し 戦争と憲法改悪への道をうち破ろう

五十九年目の八月十五日・終戦記念日です。日本の侵略によるアジア・太平洋戦争は、二千数百万人の命を奪いました。このあやまちを二度と繰り返すまいと誓いアジアと世界に宣言したのが日本国憲法でした。七月の参議院選挙は、国民世論の七割が「九条」改憲に反対しているにもかかわらず、自民・公明、民主など改憲勢力の議席増をもたらしました。自・公・民および財界は、二〇〇七年を射程に改憲と消費税増税を進めています。それは、アメリカの戦争に従う「戦争する国」づくりであり、国民大収奪の道です。日本国憲法こそは、かつて戦争に反対し民主主義を求めたがために獄につながれ、殺された治安維持法犠牲者たちの遺志なのです。私たち同盟員は、このたびの文化人九人による「九条の会」のアピールを支持し、反戦・民主の語り部となつて憲法を守り、生かす運動の先頭に立ちましょう。私たち同盟の国会請願運動は、治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を国に求める署名行動であり、再び戦争と暗黒政治を許さず、憲法を国に守らせるたたかいです。広範な人びとと手を取りあって、圧倒的な国民世論とするため全力をあげましょう。

主 な 記 事

決意新たに中央理事会開く 報告と提案(要約)	2
中央理事会での発言	3
時の焦点/原水禁大会	5
「私の八月」	6
同盟短歌・碓田のぼる選/書棚「太平洋戦争」	7
地域の戦争展・事務局日誌等	8

「戦争する国」づくり許さず 決意新たに中央理事會開く

報告と提案(要約)

7月22日

一、当面の情勢と同盟の任務

参議院選挙後の内外情勢は激動の様相を示している。

自民党は結党五十周年の〇五年に、民主党も〇六年に改憲案を提出することを決定している。公明党も九条改憲方針をうち出した。

憲法九条と教育基本法改憲の意図は、日本をアメリカに従って、戦争する国に変えるところにある。断じて許すことはできない。

このとき、日本の知性と良心を代表する有識者でつくられた「九条の会」は、感動的なアツピールを発表し、九条改憲許さぬ闘いを全国民に呼びかけた。

今こそ同盟出番のときである。今同盟員は、日本と世界の平和のために総力をあげ、この闘いと固く結合して治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求するなど、同盟独自の闘いを力強く発展させる。

二、当面の活動方針

(1)、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する活動

①必ず五〇万署名達成を

(イ)五・一八国会請願は過去最高のもり上りを示したが、賛同紹介議員は昨年(一七四名)から減少し一四五名となった。

賛同議員が衆院選で多数落選したことから、今年不賛成にまわった議員が生れたことが原因である。

(ロ)衆参両議員の過半数の賛成めざす同盟にとって、五〇万署名は最低の任務である。全国の自主目標合計五〇万を必ず達成する。(ハ)あわせて地元選出議員に対し日常的・系統的な宣伝・啓蒙活動を強める。

②全国大会後三〇議会で採択、総計三四九市区町村議会で採択された地方議会への陳情・請願を未採択議会にねばり強く働きかける。

③今年、八回目の国連要請活動(九名参加)を成功させる。

(2)、治安維持法犠牲者、先覚者を顕彰する活動。

①昨年の小林多喜二没後七〇周年記念行事の成功に続き、今年、野呂栄太郎没後七〇周年記念集会など郷土の犠牲者の碑前祭、歴史探訪ツアーを成功させる。

②神奈川などの教訓に学び、治安維持法犠牲者名簿を全県で作る。

③犠牲者・先覚者の記録のほりおこし、出版活動を強める。

④立命館大学国際平和ミュージアム内の治安維持法資料室充実のため資金協力をすすめる。

(3)、学習を盛んにし会員拡大を。①同盟にとつて会員拡大は焦眉の急を要する任務となっている。

福岡、和歌山などで会員が拡大しているが、全国的に高齢化が進んでいる。来年の大会めざし、一万六千人の会員拡大目標を必ず達成する。

②支部を建設し、地方本部、支部の事務局を数人体制で強化する。

(4)、中央、地方本部の赤字財政克服のため会費その他一〇〇%納入を期す。全国女性交流集会、地方ブロック会議の成功。署名推進リーフなどの普及を強める。



木車

亡父の遺品の「軍隊手帳」が見つかった。黄色の表紙に星印、裏表紙は形見の髪や爪入れのケース

になつてゐる。軍人勅諭や軍人・在郷軍人への勅語等を収録、懲罰を掲げて「破損紛失セザル様細心注意」を促す「履歴」欄で、大正11年から三年間近衛歩兵の中隊で服役。関東大震災時の戒厳令には「戒厳二関スル勤務二従事」(朱書)とある。除隊後も二年毎に「簡閲点呼濟」の記載があり、特に「満州事变」の翌昭7年には二日間「歩兵第32連隊二於テ勤務演習」とあるのが注意をひく。その父へ日中戦争早々昭12夏召集令。だが疾病のため「即日帰郷」。以後の記述は一切ない。(役に立たぬ者)と刻印を押されたのか。八十五歳の長寿を全うしたのだから幸いだつたが、いま改憲論がかまびすしい。万一「国防は義務」などとされて、男女問わず「国民保護手帳」でも持たされ「避難訓練済」などということになつては大変。「憲法九条」のたたかいはまさにいま!!(巽)

中央理事会の発言(要旨)

憲法と教基法改悪 反対運動を一体で

埼玉 小口 巽

教育反動の現状は憂すべき状況にある。6月県議会で公明議員が、君が代斉唱に起立しなかった教員の処分を求めたのに対して、教育長が「処分の検討」を答弁した。教育基本法の全面改訂が日程にのぼっており、「つくる会」は中高一貫校での教科書採択策動を強めている。

一方、草の根からの運動も随所で起こっている。われわれの先輩は忠君愛国の時代に民主教育を叫んでたがった。憲法を守り生かす運動と教育基本法改悪反対の運動を一体としてたたかうことが重要だ。

第8次国連要請団 8月3日に出発

国際部 斎藤久枝

7月26日から国連人権促進保護小委員会が開かれ、第8次要請団19名が8月3日成田を発つ。



(写真・報告と提案をする斎藤事務局長)

るよう求める。

フリーフィンク、ジャパンデーでも各国NGOと大いに交流したい。

選挙残念だったが
闘いはこれから

青森 富樫秀雄

小委員会では亡くなった島袋事務局長に代わり私が発言する。今回は日本における弾圧の実態を告発するとともに、アジア各国の犠牲と賠償要求の動きを報告し、

①戦後補償への勧告②治安維持法下の人権侵害について調査し、謝罪と賠償のガイドラインを作成す

中央理事会

選挙の結果は残念だが、いよいよ憲法改悪・大增税反対のたたかいが始まる。8月8日青森からは自衛隊がイラクに出発する。戦争と暗黒政治は車の両輪。選挙で自民に投票した人も戦争・改憲を選択したのではない。

署名は小さい目標だが会員一人一人に依拠してやり切った。運動力が落ちていくことを感じるが、五味会長が96歳で頑張っており、報告を聞いて頑張りたい。

秋の三浦綾子の「銃口」公演を成功させたい。

トラック5台分の 貴重な資料頂く

京都 岡本 康

立命館大学の国際平和ミュージアムで7月31日から第24回戦争展が開かれる。日露戦争からイラク戦争まで多彩な企画で、靖国神社の侵略賛美の資料も展示する。

国際平和ミュージアムでは、来年4月にむけてリニューアルする。先日亡くなった治安維持法の研究者のお宅から、トラック5台分の貴重な資料をいただいた。3台分をリニューアルオープンで展示する。この際、各地から資料を

提供していただきたい。

先輩の不屈性に学び 草の根から奮闘する

北海道 梅木和朗

北海道には野呂、小林、今野、相沢、西田ら五人の顕彰碑がある。今年の野呂栄太郎没後70周年前祭には地元長沼町長が出席し、岩見沢市長からもメッセージが寄せられた。

選挙の結果、共産党をのぞく全政党、8割の議員が改憲を主張している。日本の進路が問われる情勢のもと、年内大会をめざし同盟の組織強化、会員拡大、署名目標達成に奮闘したい。

選挙で二大政党制を打破できなかったが、草の根からとりくみ、先輩の不屈性に学んでたかいたい。

事務局体制強化で 困難を克服したい

和歌山 藤沢弘太郎

個人署名で過去最高になったが目標は達成できなかった。申し入れ資料、宗教団体の弾圧史、各団体名簿を早く支部に渡し、8月中旬(次頁へ)

旬頃までに行動できるようにした
い。

顕彰運動で、戦前戦後、和歌山
県を中心に活動した経済学者北川
宗蔵の「生誕百年 没後五十年俣
ぶつどい」に300名以上の参加
者があった。参加者名簿を支部毎
に渡して訴え、5名が入会した。

民主党の岸本議員がはじめて紹
介議員になった。自治体首長にも
伝え協力申し入れをした。

困難大きい、支部の条件を考
え論議できる事務局体制を作っ
てきた。これを生かして頑張りた
い。

歴史問題に決着を つける草の根ある

福島 加藤 起

全市町村の三月議会に請願・陳
情書を送り四町村で採択。県全体
で二市一〇町村の到達となった。
和歌山県本部の資料、近江谷副会
長の講演が力になった。

今回の経験から学んだことは、
「戦前戦後の歴史問題に決着をつ
ける草の根はある」ということ。

浅川町議会では採択後、ある保守
系議員が「自分も賛成討論をやり
たかった。言いたいことは山ほど
ある」と語っている。

福島県全体で15年戦争で六万二
〇八四人が戦死している。全市町
村の戦没者数一覧を添付資料とし
たことも説得に役立った。

「抵抗の群像」 まとめて出版

滋賀 西田 清

署名では労組の協力を十分引き
出すことができず後退した。

戦前の実態を知ってもらった
め、「武器なき闘い」の上映、先
達を偲ぶ集い、古老からの聞き取
りなどをすすめ、戦争展では流言
飛語をパネルにして特高の役割を
明らかにするなど、キャンペーン
をやってきた。

『不屈』連載の「抵抗の群像」を中
央として出版していただきたい。

犠牲者名簿の作 成が運動の力に

新潟 北村直吉

新潟県関係の犠牲者三〇七名の
名簿を作成・発行した。事件や弾
圧内容はわれわれを鼓舞激励する
もので、内外の学習と運動の力に
なっている。今後、戦前の綴り方
運動について発掘し、教育委員会
やPTAなどにも呼びかけて集会

を計画したい。

重大な情勢のもと直ちに立ち上
がることの重要性を感じている。

国連要請に6名参加 500名県同盟めざす

福岡 橋本幸夫

昨年女性委員会を立ち上げ、国



連要請行動への参加を訴え、6名
(うち女性5名)が参加することに
なった。自費参加だが知り合いや
友好団体関係者に呼びかけ、50名
から20万円のカンパがあった。帰
国後パンフの発行、報告集会をや
り、このなかで会員も増やしたい。

同盟員の拡大では、三池闘争を
たたかった大牟田支部が2名から

出発して現在42名になった経験を
全県に普及し、500名県同盟建
設をめざして取り組んでいき
たい。

女性の特徴生かし 会員拡大の先頭に

高知 溝渕政子

昨年の第14回女性交流集会で、
「この一年、会員拡大ゼロの県が
ないよう頑張ろう」と確認した。

高知では女性の手でパンフを作
るうと、「ときを翔て」I・IIを
発行した。このパンフを持って回
り、母親大会参加者の名簿を持ち
帰って会員を拡大している。話し
かけ、手紙を書いて訴え、入会申
し込み書・宣伝リーフを送り取り
組んでいる。

これまでに一支部が女性部の目
標を達成、三支部が90%の成果を
あげた。点在や班でどうすすめる
かいま検討している。女性の特徴
を生かした活動で、会員拡大の先
頭に立ちたい。

田中康夫県知事と 同盟幹部が懇談

長野 米山順夫

(次頁へ)

個人署名三万にたいし80%、団体署名84%に止まった。先日、田中康夫県知事と会い20分間懇談して署名をもらった。署名、意見書採択を重視していききたい。

5・3憲法記念日に向け「九条を守る県民の過半数署名をすすめる会」の署名と併せて国賠署名をすすめる、「平和のための戦争展」でも同盟ビデオや「武器なき闘い」を上映し、会場入り口で署名にとりくんだ。

この一年で同盟員16名が亡くなり、高齢化がすすんでいる。若い会員を増やすことが大事と痛感している。

「九条の会」に
こたえ「会」結成

愛媛 中川悦良

活動再開二年だが署名などは十分で「出番」に背くと自覚している。一方、顕彰活動では岩田義道記念につづき、重松鶴之助(画家、反戦活動家)の百年展に協力、故敷村寛治の「風の碑 白川晴一とその友人たち」(光陽出版)も出版された。

「九条の会」の呼びかけにこたえ「愛媛の会」(約九百人)結成

に参加。

今春の韓国国会での東学農民革命犠牲者四国の部隊が弾圧参加)の名誉回復決議の研修講演を九月におこなう。

この力を同盟活動前進に生かしたい。

同盟の女性市議
と青年が交流

高知 玉川 潔

署名は国会請願が終わってすぐ取り組みをはじめた。反省点は実働会員が少ないこと。

私は51歳で若いほうだと思いが、同盟全体として若返りが必要。高知では若い女性の市議員を中心に年一回青年との交流をおこなっている。同盟は知識・経験が豊富であり、若い人に引き継ぐ努力をしたい。

国会議員でも治安維持法を知らない時代。大いに外に打って出て宣伝したい。女性部パンフ『ときを翔て』を活用してほしい。

本号は中央理事会特集のため「顕彰碑探訪」は休みます。

編集部

時の焦点

五〇回目を迎える原水爆禁止世界大会。被爆そして戦後六〇年は来年。国際社会から評価される戦後日本の国際貢献として、非武装・反戦の憲法九条と反核平和の原水爆禁止運動が挙げられます。二一世紀を迎えて世界の報道機関は「二〇世紀最大の出来事」をアンケート調査しましたが、いずれの結果も「ヒロシマ、ナガサキへの原爆投下」が断トツ。日本国民の受難の実態を通して、人類全体の死活問題としての国際世論の表明でした。

ヒロシマ・ナガサキのある国の国際的責務として、被爆者とともに原水爆禁止運動はいまや、七つの海、五つの大陸に広がっています。

二〇〇三年秋の国連総会で、核兵器廃絶を求める非同盟諸国の提案が、賛成一三三カ国、反対六カ国の圧倒的大差で採択されたのも、運動の世界的広がりを物語っています。

50回目の原水爆禁止世界大会

輪を重ね、草の根からの反核平和運動の交流と連帯の場である原水爆禁止世界大会の歴史的成果の積み重ねが貢献しています。ことしの世界大会の緊急の課題は、イラクの真の平和の到来と、来年春開かれる「核拡散防止条約再検討会議」の成功をめざす共同行動の採択です。五年ごとに開かれる再検討会議。二〇〇〇年春の会議での「核不拡散とともに、核保有国も自国の核兵器廃絶に明確に努力する」という全会一致決議が、翌年発生の国際テロ根絶を口実とするブッシュ・ドクトリンによって、ご破算にさせられている現状。今秋のアメリカ大統領選挙の行方もふくめて、このブッシュ・ドクトリンを打破して核兵器廃絶への大道を切りひらく必要があります。

被爆国で世界大会主催国日本は、戦争の過程で原爆受難の実験からも、憲法九条を死守する課題があります。

広島を主舞台のことしの世界大会に秋葉広島市長の参加も決まり、非核平和の二一世紀めざして大会の成功が期待されています。

(元)

私の八月

敗戦を迎えた時

「兵の死ぬるや哀れ」 わが敗走記

東京・若林義文

有事法制ゆるさず

今も吾が腕に餓死せし

兵を抱きし重み

冒頭の短歌は全国商工新聞六月短歌の一席入選で選評に「短歌は全人格の芸術と思う。戦争体験の苛烈の極限ゆえの平和への意志と行動。」とある。

降伏一年前の四月、中国侵略の関東軍所属の一大隊が第三次華南作戦を強行し錦西から洞庭湖の南の長沙に向かった。この時すでに陸・海・空の戦力は一切、失なわれていた。中隊の補充兵・志願兵・現役兵の初年兵三十四名中、三十一名が順次餓死し倒れてゆく兵を上官は編上靴で蹴とばし、痛さで起き上つても数歩し再び倒れてゆく。銃で脅し徴発した中国人の引く牛馬の台車に積み上げ山にな

るから下積みにもされた兵は完全に息が絶える。大陸気候の温度差は激しく日中は四十度を超え、夜は零下になり食糧は途絶え兵は血便を垂れ流して歩いた。戦争は人間を虫虻のように殺した。



法案を強行し、自・公・民が憲法改悪を競い合う国政に翼賛化の流れが強まっている。反戦平和の決意を新たにし、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう人間として生ある限り平和を貫きたい。

足指に三八銃の引き金を

かけて自死せし兵の

屍抱きし

戦争政策こそ国家的犯罪行為である。

「一億玉碎」の呪縛 から解放されて

大阪・青山照明

一九四五年八月一五日通信兵下士官候補者隊の卒業式で、完全軍装で宮庭に整列していましたが、聯隊副官が「陛下の玉音放送がある」と述べスイッチが入りました。ガーガーの雑音だけで全く聞き取れません。

聯隊長が「卒業式は中止するが伍長には進級させる」と述べ、すぐ解散になりました。

私たちは班に帰つても平服に着替えるのを忘れるほど呆然として

いました。

昼食後三人で北京市内へ連絡に出されました。約五キロの高梁畑の中を歩いて北京市に入つて、愕然としました。五日前に演習で行進した時、所狭しと並んでいた日本語の看板が一枚もないのです。昨日の夕方から撤去がはじまり、今朝は一枚も残っていなかった」と聞きましたが、敗戦の現実を思い知らされ日本に帰れるのか？と不安になりました。

三日後、北京市内の防衛に出されました。汪精衛の軍隊と一緒に一つの地域の防衛に当たりましたが、女性兵士が片言で「日本負けだ。あんたたちはシベリア送りだ」と述べました。その頃になると、山田乙三関東軍司令官が特別列車を仕立てて家族をつれて逃げ帰ったことなどが伝えられており、シベリア送りは現実味を帯びていました。

私はその時「一億玉碎」の呪縛から解放されたのだ。何としても生き抜いて、こんな戦争がどうして起きたのか？ 誰が起したのか？ をしっかりと確かめなければならぬとの思いを強くしたものです。

同盟歌壇

碓田のぼる選

千葉県 行木 権平
さわやかな梅雨の晴れ間の花あかし九条の会発足また狛江の勝利
傘マークの多き朝なり校正にエゴの花咲く上総より出る

評 前歌原作の下句は「九条の会 狛江の勝利」であった。「九条の会」だけでは意味不明であるので「発足また」を補った。また後歌の原作「傘マークの多き朝を校正にエゴの花咲く上総を出でて」であった。

埼玉県 寺島 清文
戦争のスローガンはいつも「正義と平和」くりかえされる欺瞞たまもや
憲法を守るこのあたりまえの事を強く訴えなければならぬ
評 一首目、結句がよくきいている。二首目は、一読すると散文的な感じがするがこの歌には作者の緊張感がこもっており、また「強く強く」には、思いがこもっている。

東京都 若林 義文
去年の葉を落とし整う六月の松のみどりに古いも華やぐ
有事法制吾れはゆるさず戦場に餓死せし兵の温みは今も
評 一首目は、自然のめぐる命のあたらしさに、作者ははげまされてる。二首目の原作は「有事法制ゆるさず吾れは戦場に餓死せし兵の温くみ今なお」であった。

静岡県 江川 佐一
あこがれの花よし歌よし月見草選挙開票さなかに逝けり
トラックの下敷きとなりし柳田陽一氏きけわたつみの声を忘れず
評 第一番目には「ト部国松さん八十四歳」とあった。二首目の「わだつみの声」と柳田氏との関係がもう少しわかるように歌った方がよい。二首とも親愛した先輩・知人への挽歌であろう。
(選のあとに) 投稿者が少なく「不屈」歌壇は暑さ負けしたようである。肩に力を入れずに、自然体で歌った歌を、どしどし投稿されることを訴えたい。



『太平洋戦争』

家永三郎著

岩波現代文庫 (一四〇〇円十税)

初版の同書「岩波叢書」(一九六七年)を読まれた方も多いと思
うが、本書は八六年に増補改訂がなされて文庫本として再版されたものである。
あの無謀な戦争を体験してきたわれわれ大人には、その実態を次の世代に伝える義務と責任がある。この本はその意味で大変優れたメッセージを提供してくれる。家永さんは、読みたくもない官製資料も反面教師として丹念に目を通し、簡易でわかりやすい表現で記述されている。
十五年にわたる侵略戦争の推移だけではなく、「戦争はどうして阻止できなかったのか?」について実例をあげて多くの頁を当てている。そして「無謀な戦争に対する国民の下からの抵抗の素地を事前に摘みとっていたのであって、そこに戦争を阻止しえなかった決定的な条件が横たわっていたことを重視しなければならぬ」とむすんでいる。
中国侵略の記述のなかで「国内

政策においても暴力的に共産主義弾圧を強行しつづけてきたことと精密に対応するものであって、いわば十五年戦争は治安維持法の国際版であったと言えるのではあるまいか」と記している。
また、「戦争の惨禍を身にしてみても体験した歴史家の一人として、この戦争に改めて科学的な光をあてて見直したい」という執念が、このような不得意の主題について書いてみようとした決意した根本の動機であることを告白する」と、あとがきで述べている。
六月一四日のシンポジウムで国内外から批判をあびている侵略美化、歴史を歪める教科書「つくる会」の藤原信勝は「反対する国民運動に対し警察と連携して...」。

また安倍晋三の「憲法・教育基本法と表裏一体の重要問題」とのあからさまな妄言に驚き入った。
このような状況の今、本書により一人でも多くの若い人達に戦争の悲惨さと愚かさを伝える努力をしていきたい。
(倉)

十年続いている

手づくりの地域「戦争展」

— 横浜市栄区 —

今年の「戦争展」のテーマは、「おとなたちはなぜ戦争するの?子どもたちの声が聞こえますか?」。7月28日〜8月1日まで栄区のリリースギャラリーの一室で開かれました。



「栄区に戦争があった」本郷空襲被害・海軍燃料工廠跡の調査。同工廠の学徒動員生徒の「大船日記」。同盟横浜南支部作成の「戦争と暗黒政治への道」反戦・

抵抗」。栄区平和のための戦争展は、すでに十一回になります。実行委員会は地域のお母さんたちや

小中学校の教員、町内会の役員さん、お寺のお坊さん、同盟横浜南支部などによる手づくりの戦争展です。(横川)

田中知事が「署名」

長野

かねて承諾を得ていた知事と6月21日、約二〇分面談。同盟県本部から加藤会長はじめ五人が出席。知事(写真右端)は有事関連法にふれ、「戦前の治安維持法を彷彿させる」などコメントされ、国賠法制定の請願に署名されました。



〔寄贈された図書〕

詩集「天使の素足」坂田月代
「こころざしいまに生きて」

伊藤千代子の生涯とその時代

藤森明著

「今新しき光の中へ」一、二合併号

伊藤千代子顕彰碑建立記念誌

こころざしの会著

「今新しき光の中へ」三号

世界に発信・ジュネーブ発

こころざしの会著

「命燃えて」北川宗藏生誕百年発行者、北川啓子、同盟和歌山県本部

事務局日誌

6月24日 参院選公示

6月29日 「不屈」編集会議

7月11日 参院選投票日

7月15日 同盟都本部理事会に参加(斉藤)

7月21日 同盟中央三役会議

7月22日 同盟中央理事会

7月23日 斎藤久枝国際部長、ジュネーブへ出発

7月24日 「九条の会」発足記念講演会に参加(斉藤、中村)

7月29日 亀戸事件八周年実行委に参加(斉藤)

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

『治安維持法と現代』 2004年春季号 好評発売中



【主な目次】打って出よう!日本国憲法もって(奥平康弘)、「国民保護法」とは国民統制動員法(内藤功)の他、教育基本法論、「つくる会」の動向(依義文)、横浜事件と人権(橋本進)、野呂栄太郎、西田信春、上甲米太郎論、植民地台湾の支配と抵抗。【特集】太平洋戦争 昭和天皇と原爆開発計画、学徒出陣、撫順戦犯管理所、有事法制をとりあげる。「話題を読む」、犠牲者顕彰活動、短歌、俳句など多彩に収録。A 5版156頁、定価1000円、送料270円。

制作・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟